

第222回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

< LOBO調査結果 >

— 平成30年5月期 —

〔調査方法〕

会員企業175社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今期水準)および「向こう3か月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」	【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」	【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」	【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」	

〔調査対象業種〕

建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

〔調査対象数・回答状況〕

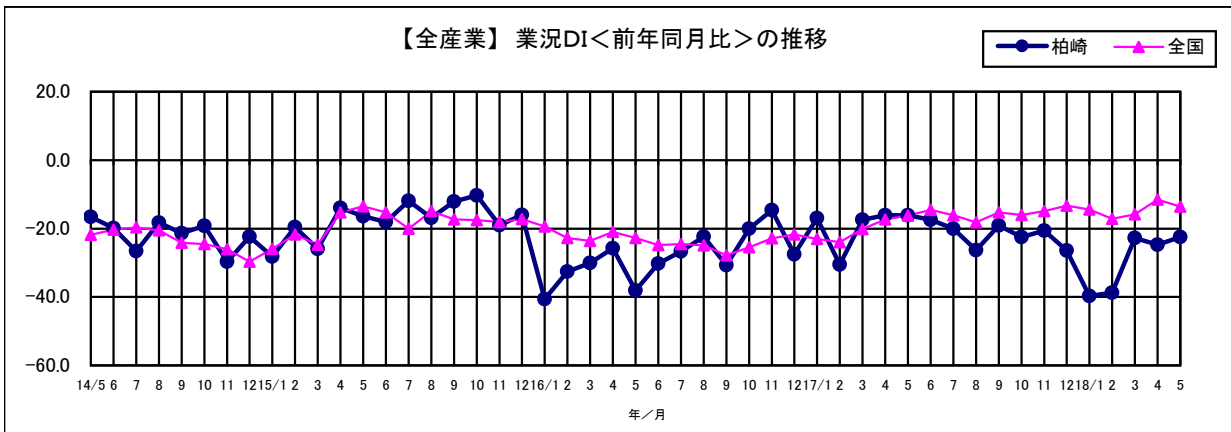
業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	46	25	30	35	175
回答数	27	33	16	17	30	123
回答率(%)	69.2%	71.7%	64.0%	56.7%	85.7%	70.3%



柏崎商工会議所

◆概況(全産業合計)

項目		17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	18年4月	18年5月	先行き見通し 6月~8月
業況	柏崎	▲26.4	▲39.7	▲38.8	▲22.8	▲24.7	▲22.5	▲27.4
	全国	▲13.3	▲14.4	▲17.1	▲15.8	▲11.5	▲13.6	▲15.4
売上	柏崎	▲29.4	▲31.2	▲40.6	▲26.1	▲22.8	▲23.4	▲25.4
	全国	▲6.0	▲10.3	▲12.6	▲11.1	▲5.8	▲9.1	▲9.6
採算	柏崎	▲21.6	▲38.5	▲36.8	▲35.5	▲27.8	▲25.5	▲25.1
	全国	▲11.9	▲15.3	▲19.6	▲16.5	▲11.9	▲14.8	▲15.4
資金繰り	柏崎	▲13.4	▲18.3	▲16.7	▲16.5	▲12.8	▲8.8	▲12.3
	全国	▲8.3	▲9.8	▲10.8	▲10.1	▲7.5	▲8.3	▲9.5
仕入単価	柏崎	▲35.5	▲38.3	▲41.7	▲46.0	▲50.3	▲42.6	▲35.1
	全国	▲37.8	▲41.4	▲41.9	▲41.0	▲42.4	▲41.6	▲37.9
従業員	柏崎	11.6	12.4	20.4	26.4	19.8	18.5	20.2
	全国							24.2
資金借入難易感	柏崎	▲1.4	▲1.7	▲1.9	1.6	3.8	0.9	2.3



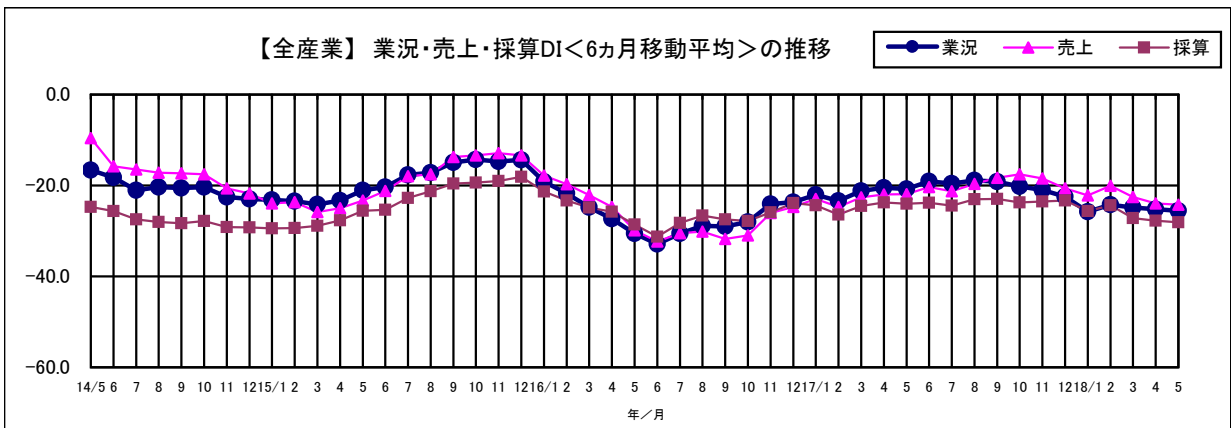
柏崎地域全体の業況DI(前年同月比)は▲22.5となり、前月とほぼ横ばいであった。売上・採算・資金繰りDIについてもほぼ横ばいである。業種別に見ると、製造業の好転が続き、建設・卸・小売業は横ばい、サービス業の悪化となっている。

向こう3カ月の先行き見通しについては、全体的に業況DIのマイナス幅が拡大する見込みである。

【移動平均分析(全産業)】

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

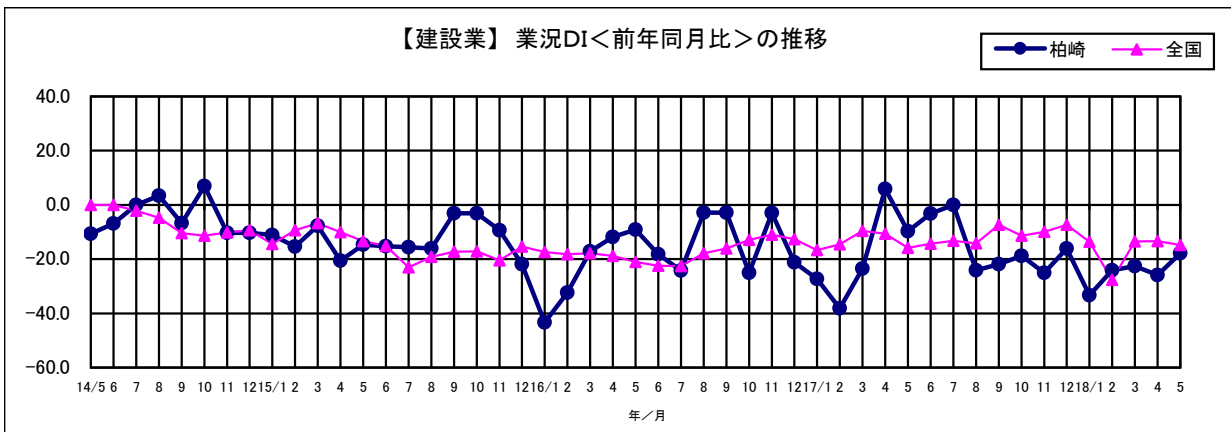
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

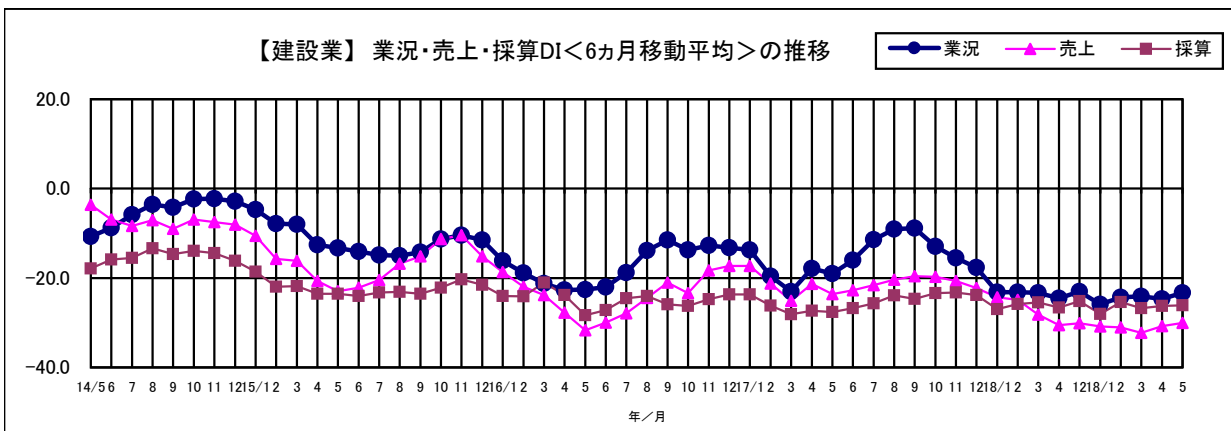
【建設業】

項目		17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	18年4月	18年5月	先行き見通し 6月～8月
業況	柏崎	▲16.1	▲33.3	▲24.1	▲22.6	▲25.9	▲17.9	▲25.0
	全国	▲7.4	▲13.6	▲11.4	▲13.5	▲13.1	▲14.8	▲11.8
売上	柏崎	▲25.8	▲30.0	▲31.0	▲38.7	▲29.6	▲25.0	▲25.0
	全国	▲10.3	▲16.8	▲11.4	▲13.1	▲10.4	▲14.1	▲9.8
採算	柏崎	▲19.4	▲36.7	▲20.7	▲29.0	▲25.9	▲25.0	▲32.1
	全国	▲8.1	▲12.9	▲14.2	▲14.3	▲8.8	▲13.8	▲14.1
資金繰り	柏崎	▲19.4	▲33.3	▲20.7	▲22.6	▲7.4	▲10.7	▲17.9
	全国	▲5.6	▲6.6	▲6.8	▲8.5	▲5.0	▲4.6	▲6.9
仕入単価	柏崎	▲25.8	▲30.0	▲31.0	▲29.0	▲40.7	▲32.1	▲35.7
	全国	▲37.3	▲39.0	▲41.2	▲39.7	▲48.8	▲44.9	▲39.3
従業員	柏崎	19.4	10.0	20.7	19.4	18.5	25.0	25.0
	全国							31.8
資金借入難易感	柏崎	6.3	9.7	0.0	▲3.2	3.7	0.0	0.0



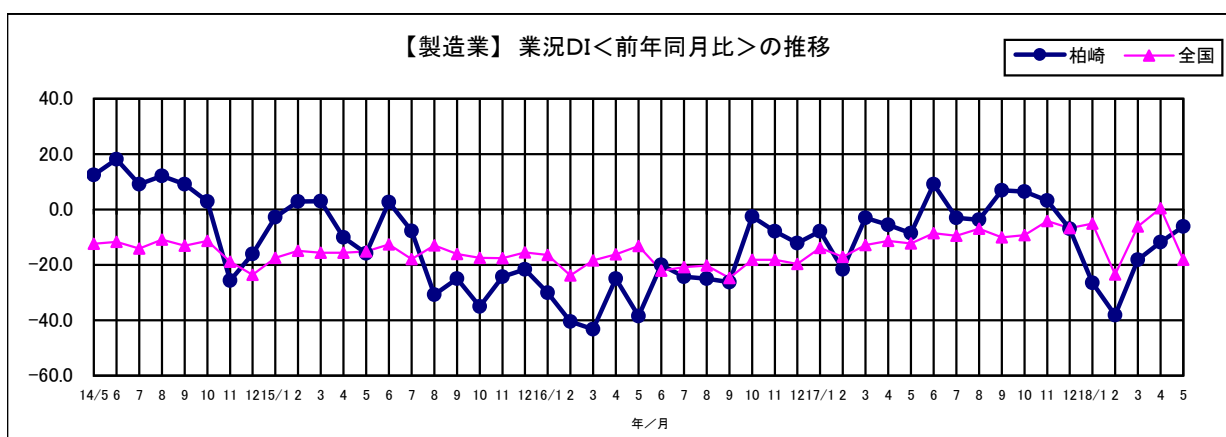
業況DIは▲17.9となり、前月より8.0ポイント改善した。実体は「悪化」から「不変」への変化が主因で実体はほぼ横ばいである。
向こう3ヶ月の先行きについては、業況・採算DIはマイナス幅拡大の見込みとなった。

【移動平均分析(建設業)】



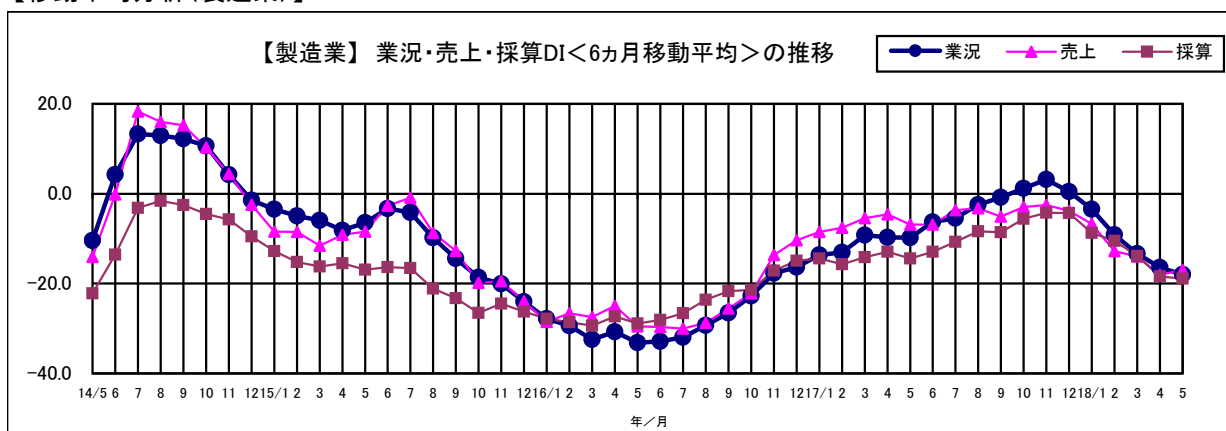
【製造業】

項目		17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	18年4月	18年5月	先行き見通し 6月～8月
業況	柏崎	▲ 6.9	▲ 26.5	▲ 38.2	▲ 18.2	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 18.2
	全国	▲ 6.7	▲ 5.1	▲ 10.1	▲ 6.1	0.5	▲ 5.8	▲ 9.7
売上	柏崎	▲ 10.3	▲ 11.8	▲ 47.1	▲ 21.2	▲ 14.7	3.0	▲ 15.2
	全国	3.1	0.0	▲ 0.5	2.3	3.9	1.9	▲ 1.9
採算	柏崎	▲ 3.4	▲ 26.5	▲ 29.4	▲ 30.3	▲ 17.6	▲ 6.1	▲ 15.2
	全国	▲ 8.0	▲ 8.5	▲ 13.5	▲ 10.2	▲ 7.7	▲ 9.9	▲ 11.8
資金繰り	柏崎	0.0	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 6.1	2.9	▲ 3.0	▲ 12.1
	全国	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 8.1	▲ 7.1	▲ 3.9	▲ 6.8	▲ 7.6
仕入単価	柏崎	▲ 31.0	▲ 44.1	▲ 44.1	▲ 51.5	▲ 58.8	▲ 51.5	▲ 33.3
	全国	▲ 44.2	▲ 44.4	▲ 45.6	▲ 44.4	▲ 47.1	▲ 49.4	▲ 43.0
従業員	柏崎	6.9	23.5	23.5	24.2	17.6	12.1	18.2
	全国							20.9
資金借入難易感	柏崎	0.0	11.8	11.8	21.2	14.7	9.1	12.1



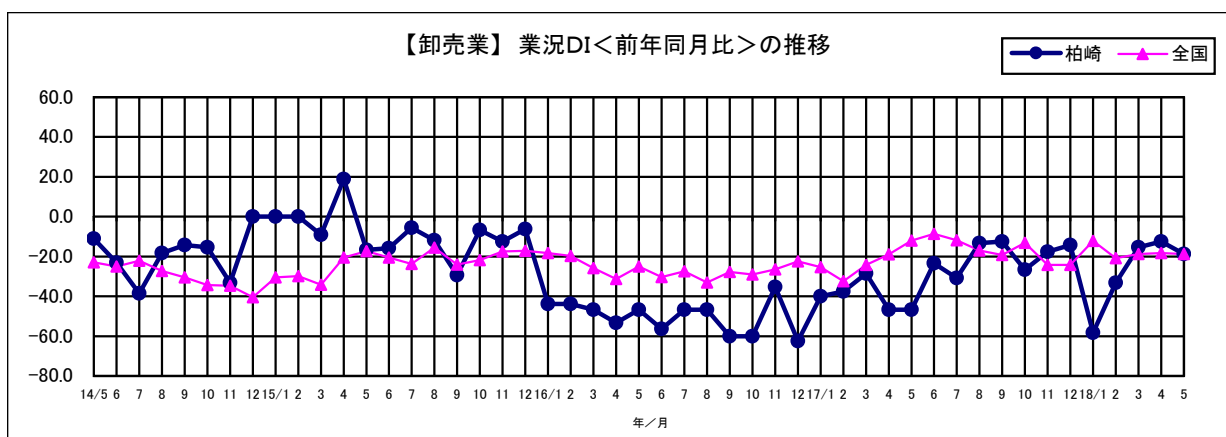
業況DIは▲6.1となり、前月より5.7ポイント改善した。機械金属製造業においては業況・売上・採算DIで「好転」が「悪化」を上回っている。一方、機械・金属関連以外の製造業においては「悪化」の回答が半数以上を占めている。
向こう3ヶ月の先行きについては、業況・売上・採算DIはマイナス幅拡大となる見込みである。

【移動平均分析(製造業)】



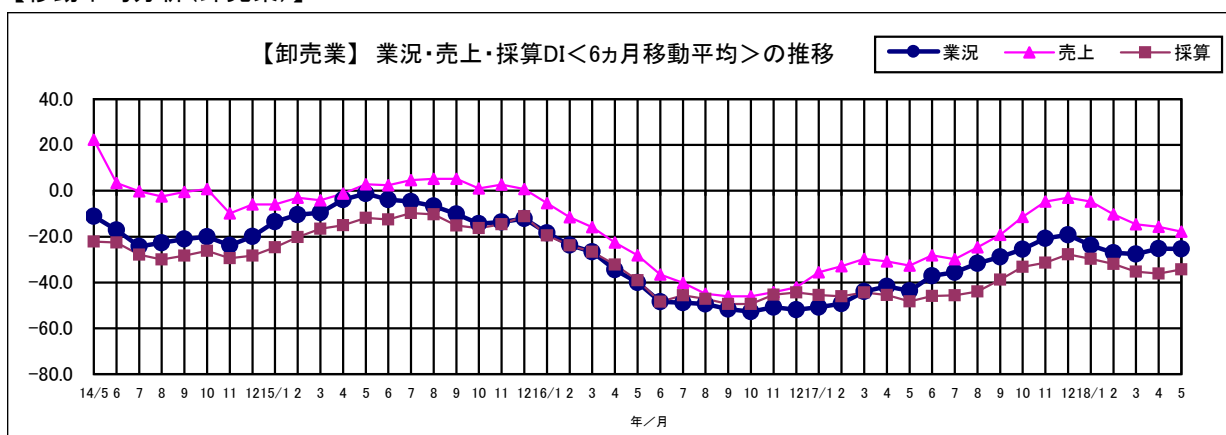
【卸売業】

項目		17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	18年4月	18年5月	先行き見通し 6月～8月
業況	柏崎	▲ 14.3	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 18.8
	全国	▲ 17.4	▲ 12.2	▲ 20.8	▲ 18.8	▲ 18.3	▲ 19.4	▲ 20.3
売上	柏崎	▲ 7.1	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 7.7	▲ 6.3	▲ 12.5	▲ 6.3
	全国	0.0	0.5	▲ 13.9	▲ 6.3	▲ 14.5	▲ 13.8	▲ 14.3
採算	柏崎	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 53.3	▲ 38.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
	全国	▲ 9.2	▲ 16.2	▲ 18.8	▲ 8.9	▲ 17.2	▲ 13.4	▲ 15.2
資金繰り	柏崎	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 6.7	▲ 15.4	▲ 12.5	0.0	▲ 12.5
	全国	▲ 5.6	▲ 7.1	▲ 3.4	▲ 2.1	▲ 4.8	▲ 2.8	▲ 5.1
仕入単価	柏崎	▲ 35.7	▲ 33.3	▲ 46.7	▲ 46.2	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 31.3
	全国	▲ 39.5	▲ 48.2	▲ 43.2	▲ 39.8	▲ 32.8	▲ 35.5	▲ 40.1
従業員	柏崎	14.3	8.3	13.3	23.1	6.3	12.5	12.5
	全国							17.1
資金借入難易感	柏崎	14.3	▲ 8.3	▲ 13.3	▲ 7.7	▲ 6.3	0.0	6.3



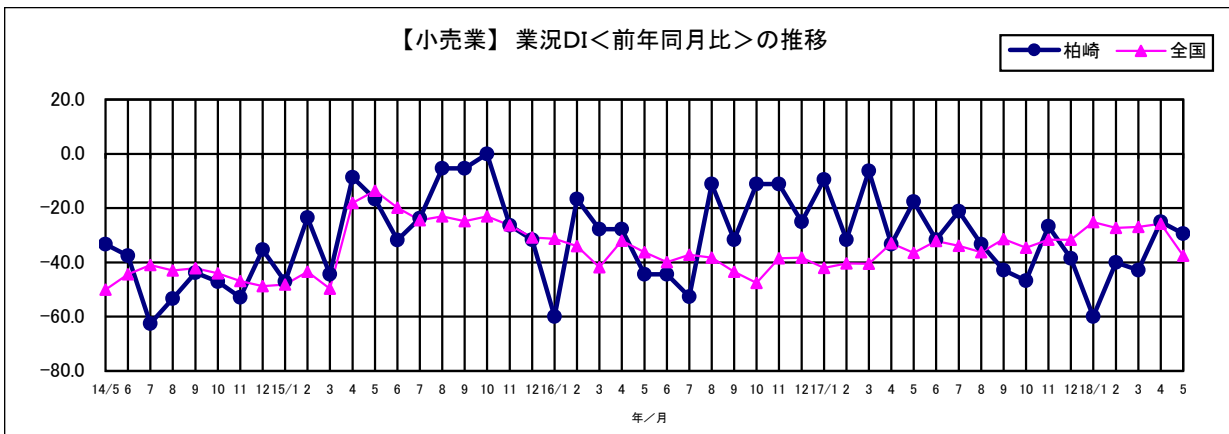
業況DIは▲18.8となり、6.3ポイント悪化した。DI値で見ると全国水準と比較しても相違はないが、実体は「悪化」から「不変」への変化が主因でほぼ横ばいである。
向こう3ヶ月の先行きについては、業況DIの改善、売上・採算DIともに横ばいとなる見込みである。

【移動平均分析(卸売業)】



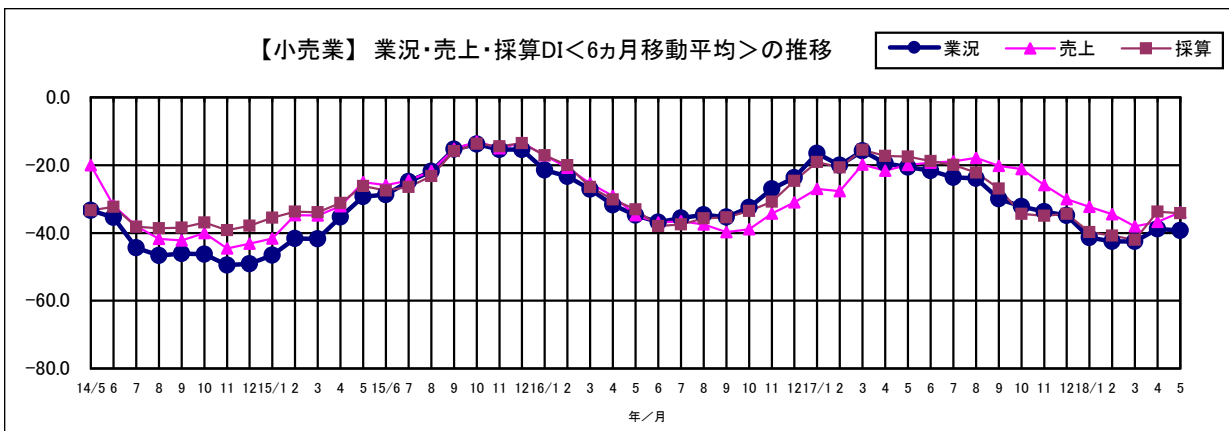
【小売業】

項目		17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	18年4月	18年5月	先行き見通し 6月～8月
業況	柏崎	▲ 38.5	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 35.3
	全国	▲ 25.8	▲ 25.2	▲ 27.3	▲ 26.9	▲ 25.7	▲ 26.5	▲ 27.5
売上	柏崎	▲ 46.2	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 25.0	▲ 23.5	▲ 35.3
	全国	▲ 19.6	▲ 23.0	▲ 25.3	▲ 29.5	▲ 17.6	▲ 24.0	▲ 22.3
採算	柏崎	▲ 23.1	▲ 53.3	▲ 46.7	▲ 35.7	▲ 16.7	▲ 29.4	▲ 35.3
	全国	▲ 17.5	▲ 21.3	▲ 25.1	▲ 22.4	▲ 16.8	▲ 27.3	▲ 24.3
資金繰り	柏崎	▲ 23.1	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 11.8
	全国	▲ 16.8	▲ 17.7	▲ 21.0	▲ 16.3	▲ 14.8	▲ 15.5	▲ 16.8
仕入単価	柏崎	▲ 46.2	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 35.3	▲ 29.4
	全国	▲ 32.2	▲ 37.0	▲ 37.0	▲ 35.6	▲ 39.1	▲ 35.0	▲ 32.5
従業員	柏崎	0.0	▲ 13.3	▲ 6.7	7.1	▲ 8.3	▲ 11.8	▲ 23.5
	全国							19.0
資金借入難易感	柏崎	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0	0.0



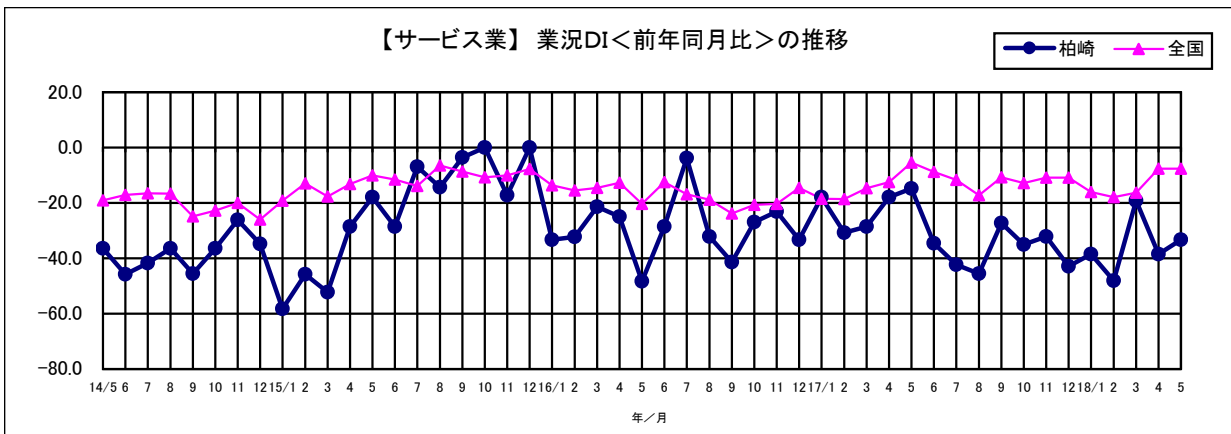
業況DIは▲29.4となり、前月から4.4ポイント悪化した。採算DIにおいては大幅に悪化した。食品小売業を中心に業況を下押ししている。全業種の中で唯一、従業員が過剰であるとの結果になった。向こう3ヶ月の先行きについては、業況・売上・採算DIの項目においてマイナス幅が拡大している。

【移動平均分析(小売業)】



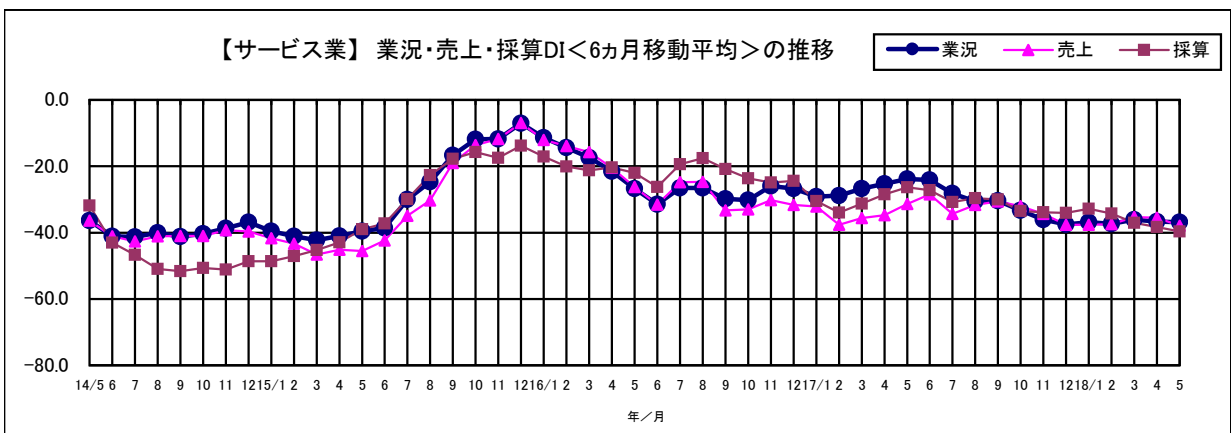
【サービス業】

項目		17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	18年4月	18年5月	先行き見通し 6月～8月
業況	柏崎	▲ 42.9	▲ 38.5	▲ 48.1	▲ 19.2	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 33.3
	全国	▲ 11.5	▲ 16.1	▲ 17.9	▲ 16.3	▲ 7.6	▲ 7.6	▲ 11.3
売上	柏崎	▲ 42.9	▲ 42.3	▲ 44.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 43.3	▲ 33.3
	全国	▲ 4.2	▲ 10.5	▲ 14.6	▲ 9.9	0.9	▲ 2.7	▲ 4.5
採算	柏崎	▲ 35.7	▲ 38.5	▲ 40.7	▲ 42.3	▲ 42.3	▲ 36.7	▲ 23.3
	全国	▲ 15.3	▲ 17.9	▲ 25.3	▲ 22.9	▲ 11.8	▲ 10.9	▲ 12.5
資金繰り	柏崎	▲ 14.3	▲ 19.2	▲ 22.2	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 10.0	▲ 10.0
	全国	▲ 9.0	▲ 9.1	▲ 11.9	▲ 13.0	▲ 7.6	▲ 8.8	▲ 9.0
仕入単価	柏崎	▲ 39.3	▲ 42.3	▲ 48.1	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 40.0
	全国	▲ 35.3	▲ 40.3	▲ 41.8	▲ 43.4	▲ 40.5	▲ 40.0	▲ 35.2
従業員	柏崎	14.3	19.2	33.3	42.3	38.5	36.7	43.3
	全国							30.1
資金借入難易感	柏崎	▲ 7.1	▲ 3.8	▲ 7.4	▲ 3.8	3.8	▲ 3.3	▲ 3.3



業況DIは▲33.3となり、前月より5.2ポイント改善した。実体は「悪化」から「不変」への変化が主因で実体はほぼ横ばいである。
 向こう3ヶ月の先行きについては、業況DIは横ばいの見込みとなるが、観光以外のサービス業においては「悪化」の回答が半数以上みられ、依然として厳しい状況が感じられる。

【移動平均分析(サービス業)】



◆5月調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

<製造業>

・引き合いが多く、設備の発注をしているが、納期が長くなっている。どこまで好景気が続くか不安な中での設備である(機械・金属製造業)

・受注残が滞ってき始めているが人材不足が解消しないため、生産量が増やせない。納期対応に日々追われているが、こんな状況はこれまでに経験がない事態だと思われる(機械・金属製造業)

・生産設備に積極的に投資中(機械・金属製造業)

<卸売業>

・昨年より海水温度が低い影響か、鯛、平目などの前浜の水揚げは10%減った。「いか」は産卵場の東シナ海の水温が低く、親イカが3年で70%減った影響もあり、佐渡沖でも見えていない(食料品卸売業)

<小売業>

・依然として市内における消費マインドは低迷していると感じる。PB(プライベートブランド)事業部は、昨年対比で売上は196%、利益は209%であったが、更なる進捗を期待していただけに、もの足りなさを感じた。今後は現状のマーケット以外にも、営業活動を強め、更なる数値獲得をしていきたい。部材、資材、運賃の値上がり厳しく、商品価格に上乗せることができないことが悩み。生産体制も整い、生産力アップもしてきたので、更なる受注対応も可能になった(一般小売業)

<サービス業>

・業界に於いて行政の規制等、厳しく対応に迫られると共に、消費の冷え込みが大きく営業を圧迫している。原発の稼働等、市内の経済活性化を早急に求めます(一般サービス業)

・ゴールデンウィークが前年より休みが1日少なく利用数、売上ともに不振であった。中旬～下旬にかけて上向きになって来たが、苦戦傾向は続いている。夏商戦に期待している(一般サービス業)

・近年、法要の需要が減少する中、ゴールデンウィークは皆無であり今後の状況も厳しさを増しそうです(一般サービス業)

・全体としては底打ち感があり、これ以上の悪化は考えにくい。現在、当社においては下請けにて売上不足を補っている。仕入価格の上昇が採算の悪化に直結していることは否めない。(一般サービス業)

◆参考;全国から日商調査に寄せられたコメント

<建設業>

「公共工事の発注量が少なく、価格競争が厳しいことに加え、人件費や建設資材価格、燃料費などの上昇も相まって、採算悪化となった」(土木工事業)、「再開発関連などの民間工事が多く、売上は堅調。他方、人手不足は深刻であるため、今夏から賞与を増額し、人材確保・定着に努めるほか、省力化を目的とした設備投資も検討している」(電気工事業)

<製造業>

「水産物等の原材料価格や燃料費、運送費の上昇が収益を圧迫しているものの、消費者の節約志向から、販売先の小売業からの引き合いが鈍いため、価格転嫁に踏み切れない」(食料品製造業)「取引先である自動車業界の輸出が堅調なことに加え、人手不足を背景とした省力化投資の拡大から、ロボット関連の部品の引き合いが強く、売上改善となった」(金属製品製造業)

<卸売業>

「大手メーカーの業務用酒類の値上げに伴う、駆け込み需要の反動から、売上は大幅に減少した。新規卸先の発掘に積極的に取組み、巻き返しを図りたい」(酒類卸売業)、「卸先の製造業の工場稼働率が高く、当社の売上も改善した。他方、仕入価格や燃料費、運送費等の上昇から、収益の確保には難航している」(金属製品卸売業)

<小売業>

「インバウンド需要が好調で売上は改善。特に、ブランド衣料品を含む高額品や、化粧品の売上が伸びている」(百貨店)

「飲食良品や日用品等の値上げから、消費者の低価格志向が強まり、売上は落ち込んだ。パート・アルバイトの人件費が上昇する中、同業他社との価格競争も厳しさを増し、採算も悪化した」(食料品小売業)

<サービス業>

「今年のゴールデンウィークは日並びが良かったため、客数増を期待していたが、期間中の天候不順等により、想定した客数には届かなかった」(飲食業)、「ネット通販など、好調な配送需要を受け、売上は改善。ただし、中東情勢の緊迫化を背景とした燃料費の上昇で、粗利の確保には苦戦している」(運送業)